



6月号 令和3年5月31日発行

窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [TEL911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



言葉のもつ力

～心あたたまる窪田っ子からの一言～

校長 伊藤 智樹

「先生、眼大丈夫？赤いよ」5月中旬にいつものように教室の学習の様子を見に行ったときのある学級の子どもからかけられた一言です。近くの鏡で自分の眼を見ると白目の部分が内出血をしているように見えました。この眼の状態なら子どももびっくりするかもしれないのに「先生眼大丈夫？赤いよ」と心配をしてくれた一言が嬉しくて心が温かくなりました。また、つい最近の出来事で、1年生が職員室に用事があって来た際に後ろに6年生と一緒に付き添ってきてくれました。1年生は要件を自分の言葉で伝えることができました。用事が終わった際に「よかったね。」と6年生が笑顔で話しかけていた姿、それに応えて笑顔で頷く1年生の姿を見ることができました。

今から35年以上前の大晦日のテレビCMに「一秒の言葉」という詩が放映されたことがあります。学校の校舎を背景にした60秒間のCMで1回だけの放映、しかも民放各局一斉放映でした。当時このCMは反響を呼び、道徳の資料集などに採用されるなどしました。

一秒の言葉 小泉吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる時がある



本校を含め教育界では、GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想に向けて ICTに関する様々な取り組みを始めたところです。また全面実施2年目を迎えた学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的な深い学び」実現に向けて授業改善に取り組んでいます。

不易と流行という言葉があります。「GIGA スクール構想」が流行とすれば、「言葉のもつ力」を学ぶことは教育の根幹でもあり学校教育が今まで大切にしてきた不易としての面があります。



私たち教職員が「言葉のもつ力」を常に意識しながら子どもたちに接しなければならないと考えます。人と人とのつながりの手段の一つが言葉です。私の眼を気遣ってくれた子どもの「一秒の言葉」。嬉しく幸せな気持ちにしてくれた「一秒の言葉」。「一秒の言葉」を大切に子どもたちに幸せな気持ちを感じさせることも教育の使命の一つです。人とふれあうことで子どもたちに「言葉のもつ力」を実感させていく窪田小学校でありたいと思います。